

生涯現役を目指すまちづくり

H25年11月9日(土)

保健所

【主なご意見】

- 料理初心者のシニア男性を対象の料理教室を企画し、市民企画提案事業として実施している。同事業は5年が上限なので、その後の運営について考えている。
- 空き家等を活用して、高齢者や放課後の学童が集まってふれあう機会を作れば、交流を深め、生きがい対策になると思う。
- 栄養改善協議会の栄養委員の認知度が低いので、PRするとともに、ボランティアなので活動場所の減免をしてほしい。
- 大学連携講座を利用しているが、本気で学びたい人のために、大学の本当の講義を夜間聴講できるようなことを考えてほしい。
- 子どもたちの冒険遊び場に高齢の方もボランティアにきてほしい。核家族世帯が多いので、子どもや保護者に経験談・相談にのったりしてほしい。
- 健康のために、食事のこと(果物や野菜を食べる順序)をもっと考えたほうが良い。
- 世代間交流ができる屋外の場所がほしい。
- 理系の人や、定年後その専門知識を生かして、活躍できる場がほしい。
- 世帯構成の偏りなど、地域によっては愛育委員の活動ができなくなっているところがある。
- 定年後に何かしたいと思っている。その時に姫路市のような生涯現役相談窓口があれば。
- 他市と比較して、倉敷市の健康寿命が短い。これを長くすることを指標にしたら良いのではないか。
- 活動したいと思っている人に色々な情報を提供・マッチングできるよう、行政も縦割りだけでなく各部署が連携して、案内冊子などを作成したらどうか。